

一人一人が輝くように、一緒に考えませんか？！ ～一人一人のニーズに応じた特別支援教育を通して～

菊陽町立菊陽中部小学校

菊陽中部小学校では、「夢をもち、光かがやく中部小っ子の育成」を教育目標に一人一人の児童が、光り輝きながら楽しい学校生活を送ることを目標に学校教育活動を行っています。その実現のために、児童一人一人の実態を的確に把握し、個に応じた支援を行っています。



こんなことで困っている子どもたちがいます！

学校生活は、集団生活です。集団生活で求められることに適応することが難しく、次のようなことで困っている子どもたちがいます。これは、わがままや甘えではなく、やりたくてもできない状況があります。そのために、早い段階から適切な対応や本人に合った環境を整える必要があります。

言葉だけで言われてもよく分からないよ。

身の回りが片付いてないけど・・・どうやって片付けたらいいかわからないんだ。

すぐに手が出てしまうんだ。言葉でどう伝えたらいいかわからないんだ。

周りがざわざわしているとイライラしてくるんだ。うるさい音も苦手だな。

じっと話を聞くのは苦手だな。つい体がうごいてしまうんだ。

人が多いのは苦手なんだ。人が少ないところで学習すると落ち着くんだけど・・・。



好きなことは集中してやれるけど・・・。興味がないことはしたくないんだ。

急に予定が変わると不安なんだ。気持ちの切り替えができないよ。

菊陽中部小学校での支援体制

菊陽中部小学校では、通常学級、通級指導教室、特別支援学級（あすなる学級）で個に応じた支援を行っています。

通常学級

通常学級では、すべての児童にわかりやすいユニバーサル・デザイン(UD)の授業を心がけ、日々の教育活動を行っています。

【中部小授業改善の5箇条】

- ・チャイムで始め、チャイムで終わる！
- ・短くわかりやすい指示！
- ・流れを視覚的に示す！
- ・好意に満ちた言葉かけ！
- ・テンポとメリハリ！

中部小学校では、各担任がこの5つのUDの視点に基づいて、共通実践しています

また、8人の教育支援員の先生方が授業に入り、個別支援を行っています。

通級指導教室

通級指導教室では、「感情のコントロールがなかなかうまくいかない。」「友達とのコミュニケーションが苦手だ。』と感じている児童に、「**集団行動スキル**」や「**ソーシャル・スキル・トレーニング**」等を通して、自己理解や人の気持ちの理解を進め、適切な集団活動ができる力を育てています。

また、得意なことや興味のあることを伸ばして自己肯定感を高める取組も行っています。

通級指導教室は、一人一人の実態に合わせて、1週間に1時間～8時間まで利用ができます。

担当は、**敷地久子先生**です。

特別支援学級 (あすなる学級)

あすなる学級では、一人一人の実態に応じた教育課程に基づいて、きめ細かな支援を行っています。

自分の学年の学級(交流学級)を学校生活の基盤とし、**個別**や**小集団の学習**をあすなる学級で行います。子どもたちは、2つのクラスを行き来しながら、さまざまな力を身に付けていきます。

現在、知的障害学級 2 クラス、自閉症・情緒障害学級 4 クラス、肢体不自由学級 1 クラス、難聴学級 1 クラスの計 8 クラスで、48人の子どもたちが 11 人の担任と学習をしています。

まずは、相談してみませんか？

本校には、特別支援教育コーディネーターがいます。保護者の方と面談をして、一人一人の児童の実態に応じた支援体制をご提案させていただきます。

また、定期的にスクール・カウンセラー（SC）やスクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）が来校しています。

特別支援教育コーディネーター

特別支援教育コーディネーターは、全職員で共通理解し、連携して子どもたちを支援していけるように支援体制等をコーディネートします。具体的な支援の方法等を校内支援委員会で話し合うとともに、子どもさんへのよりよい支援について保護者の方と相談し、一緒に考えていきます。教育相談を行うのも、コーディネーターの役割です。

本校では、主に原田先生、敷地先生、村田先生が担当しています。

スクールカウンセラー（SC）



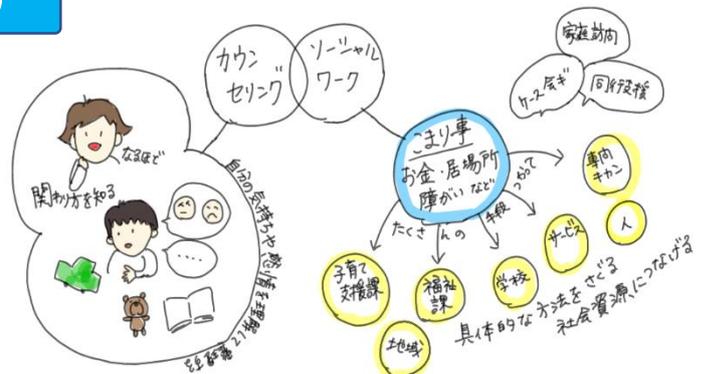
学校生活をはじめ、子どもの悩みや問題を解決するための手立てとして、また子どもたちの心のケアや保護者の皆様の子育ての悩みに対応するために、スクールカウンセラーが派遣されています。

本校には、西村由美子SCと橋口真人SCの2人のスクールカウンセラーが月2回程度来校されます。来校日は、「保健だより」でお知らせしますので、ご確認ください。

スクールソーシャルワーカー（SSW）

スクールソーシャルワーカーは、学校や家庭での困りごとを抱えている子どもと家族を支えていきます。相談を受けながら、必要に応じて子どもを取り巻く「環境」（先生、親、関係機関など）に働きかけを行います。

本校には、徳永佑美SSWが毎週水曜日に、古閑智子SSWが木曜日午後に来校されます。



菊陽町には、こんな所もあります！

菊陽町子ども総合相談室

菊陽町防災センター内に設置されています。子どもの様子で気になること、心配なことを「子ども相談員」がお聞きし、学校と連携しながら、子どもの困りごとに対するよりよい手立てを考えたり、保護者の皆様の子育てのお手伝いをしていきます。

主な相談機関

本校では、子どもたち一人一人のニーズに合った教育を行うために、専門機関と連携し、適切な助言をいただきながら教育活動を進めています。ご相談がありましたら、担当に遠慮なくお問い合わせください。

特別支援教育コーディネーター：原田、敷地、村田、後藤

スクールカウンセラー：担任または養護教諭（後藤、原）

スクールソーシャルワーカー：担任または教頭（佐藤・城）

菊陽町子ども総合相談室：教頭（佐藤・城）

県立大津支援学校：特別支援教育コーディネーター

熊本県北部発達障がい者支援センターわっふる：特別支援教育コーディネーター